

古代ギリシアー 1

1 地中海世界の特色

- ①大河・大平野なし。地中海性気候（夏の小雨と乾燥）→ ぶどう酒やオリーブ油を輸出、穀物を輸入 果樹栽培や羊の牧畜に適する。
- ②海上交通の発達（各地の特産品の取引や文化の相互伝播）→ 地中海世界を形成。
- ③地中海北岸 … インド＝ヨーロッパ語族のギリシア人やイタリア人が活躍。

2 [1 エーゲ] 文明 … オリент文化の影響を受け、前 20 世紀頃～前 12 世紀頃まで栄えた (2 青銅器) 文明(クレタ文明、ミケーネ文明、トロイア文明) の総称。

1. [3 クレタ] 文明：前20世紀～前15世紀（ミノア文明ともいいます）

- ①民族系統は不明。
- ②クレタ島の⁴ クノッソス 中心。クノッソス宮殿の遺跡 … (⁵ エヴァンズ) (英) が発掘。
- ③特色 … 宗教的権威を背景とする強大な王権が存在。城壁はなく、**明るく開放的な海洋的文化**。
- ④文字 … 線文字A（未解読）。 … 壁画や壺には海洋動物が描かれる。
- ⑤アカイア人により滅亡。

2. [6 ミケーネ] 文明：前16世紀～前12世紀

- ①前20世紀以降に南下した⁷ アカイア人 が建設。
- ②ギリシア本土の⁸ ミケーネ、⁹ ティリンス 中心 … (¹⁰ シュリーマン) (独) が発掘。
- ③特色 … 強大な王権が存在。巨石で築いた**城壁など戦闘的な要素**。貢納王政。
- ④文字 … 線文字B = (¹¹ ヴェントリス) (英) が解読。
- ⑤滅亡 … 前12世紀、突然滅亡。
 - ・従来は、**鉄器をもって侵入した¹² ドーリア人** によるとされてきた。
 - ・近年は、気候変動や「¹³ 海の民」の侵入など複数の原因があげられている。

3. [14 トロイア] =¹⁵ トロヤ 文明：前20世紀～前12世紀

- ・**小アジアのトロイア**（トロヤ）中心 … (¹⁶ シュリーマン) (独) が発掘。

□ピュロス … ミケーネ文明の遺跡の1つ。

3 ポリスの成立

1. ギリシア人の南下・定住

- ・第1次南下 … 前20世紀以降¹⁷ アカイア人 が南下 → ミケーネ文明を形成。
- ・第2次南下 … 前12世紀以降¹⁸ ドーリア人 (**鉄器を使用**) が南下(→ ミケーネ文明を滅ぼす?)
→ 方言の違いにより、イオニア人・アイオリス人・ドーリア人に分化。

2. [19 ポリス] の成立（独立の都市国家）

- ・前12世紀、ミケーネ文明滅亡 → 以後、“**暗黒時代**”。
- ・**前8世紀頃**、(²⁰ シノイクスモス =²¹ 集住) によりポリスが成立。
 ※ ポリスの構造 … ²² アクロポリス (丘) = 守護神を祭る。戦時には防衛の拠点。
²³ アゴラ (広場) = 交易・集会・裁判など市民生活の中心。
 … 城壁で囲まれた市域と周囲の田園からなり、市民は田園部に所有地(クレーロス)を持つ。

3. ギリシア人の同族意識

- ・自分たちを²⁴ ヘレネス、異民族を²⁵ バルバロイ と呼んで区別。
- ・共通の言語と宗教 … **オリンポスの12神**を信仰。
²⁶ デルフォイ のアポロン神の神託を信じる。
²⁷ オリンピア で民族的祭典を4年に1度行う（期間中は休戦）。
- ・²⁸ ホメロス の叙事詩を全ギリシア人が愛誦。
- ・隣保同盟（共通の神殿を信仰するポリス間の同盟）。

古代ギリシアー 2

4 民主政への歩み（ポリスの発展）… アテネの民主政治の成立と発展の過程を理解すべし！

1. 初期は王政

→ 王は貴族の第一人者という性格で、権力は弱小 → やがて貴族政治へ移行。

2. [¹ 貴族政治] 成立(前7世紀前半)

①重装騎兵として国防の主力を担った貴族が、初期の王政を打倒して政権を独占。

②9人の貴族出身のアルコン（執政官）で統治。

3. 平民の勢力増大

①人口の増大・耕地の不足により、ギリシア人たちは地中海各地に進出して植民市を建設。

ex. (² マッサリア) (³ ビザンティオン) (⁴ ネアポリス)、シラクサなど

②植民市の建設により交易が拡大。また小アジアの ⁵ リディア 王国から ⁶ 金属貨幣 が伝来。

③その結果、商工業が発展し、富裕な平民が台頭、武器の価格が下がる。

(铸造貨幣)

→ 平民による(⁷ 重層歩兵)部隊が軍隊の主力となる… 密集隊形(ファランクス)を組んで戦う。

→ 平民は貴族の政権独占に対して、参政権を要求して争うようになる。

4. アテネの民主化の過程

[⁸ ドラコン]	前7世紀末	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の慣習法を成文化。 (ドラコン法 = アテネ最古の成文法)
[⁹ ソロン]の改革	前6世紀初	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族と平民の調停者。 ・(¹⁰ 財産政治) : 血統でなく、財産の大きさに市民を4等級に分け、権利と義務を定める。 ・負債を帳消しにし、市民の債務奴隷化を禁止。
[¹¹ 僭主政治]	前6世紀半	<ul style="list-style-type: none"> ・僭主とは？… 平民の不満を背景に、武力によって非合法的に政権を握った人物。一般には専制的・独裁的政治を行う。 ・(¹² ペイストラトス) … 追放した貴族の財産を平民に分配。 文化を奨励、商工業の発展を保護。
[¹³ クレイステネス] の改革	前508年	<ul style="list-style-type: none"> ・(¹⁴ 陶片追放 = ¹⁵ オストラキスモス) の制度を創始して、僭主の出現を防止。 <small>(オスタラシズム)</small> ・貴族政治の基盤であった従来の血縁に基づく4部族制を廃止して、新しく地域単位の10部族制を創設。 → 民主政治の基礎を築く。

<プラスα>

□ドラクマ銀貨… 古代ギリシアの銀貨。のち、ヘレニズム世界で広く流通し、ローマ帝国時代にいたっても利用された。

□ヒッピアス… 僭主ペイストラトスの子。暴君と化した。

□オストラコン… 陶片追放に用いられた陶器のかけら。

□デーモス… クレイステネスは従来の4部族制を廃止し、市民を居住する地区(デーモス)に登録し、それらを組み合わせて、新たな10部族制を創始した。

□五百人評議会… クレイステネスの改革で設けられた議会。10部族から抽選で選ばれた各50人ずつの評議員で構成。

4 ポリスの発展 の続き

5. [1 ペルシア戦争] : 前 500 年～前 449 年

①原因 …² アケメネス朝ペルシア が³ フェニキア人 の海上貿易を保護し、小アジア（イオニア地方）のギリシア人植民市を圧迫 → ⁴ イオニア植民市 がミレトスを中心に反乱。→ アテネがこれを援助。

②戦争の経過

- ・ 第1回：ペルシア王（⁵ ダレイオス1世）の時代 → 暴風雨で失敗。
- ・ 第2回：ペルシア王、ダレイオス1世の時代
前490年（⁶ マラトンの戦い）：アテネの勝利。重装歩兵部隊の活躍
- ・ 第3回：ペルシア王、クセルクセス1世の時代
前480年（⁷ サラミスの開戦）：⁸ テμισトクレス 率いるアテネ海軍が勝利。
前479年、プラタイアの戦い：アテネ・スパルタ連合軍が勝利。

③意義 … 東方の専制国家に対してギリシア市民が自由と独立を守ったこと。
サラミスの海戦の勝利の結果、アテネでは軍艦のこぎ手として活躍した⁹ 無産市民 にも参政権が与えられ、民主政治が完成。

6. [10 ペリクレス] 時代（前 443 年～前 429 年）：アテネ民主政治の黄金時代です。

- ①(¹¹ 民会)：最高機関。18歳以上の成年男子市民による全体集会。
- ②官職は、将軍職など特別なものを除いて、全て¹² 抽選 で選ばれた（任期1年）。
- ③裁判 … 抽選で選ばれた陪審員による民衆裁判所。役人や政治家に対する弾劾裁判。
- ④現代民主政治との違い
 - ・ ¹³ 奴隷制度 を基礎としていたこと。
 - ・ 参政権が、¹⁴ 成人男子市民 に限定されていたこと（女性や在留外国人には参政権はなし）。
 - ・ ¹⁵ 直接民主政 であったこと。

<プラスα>

□ミルティアデス … マラトンの戦いにおけるアテネ軍の指導者。

□テルモピレーの戦い … 前 480 年、第3回ペルシア戦争で、レオニダス王以下のスパルタ軍がペルシア軍により、全員玉砕した戦い。

■三段権船 … サラミスの海戦などペルシア戦争で、アテネの無産市民がこぎ手をつとめた軍船。

5 アテネとスパルタ

	アテネ	スパルタ
種 族	¹⁶ <u>イオニア</u> 人のポリス	¹⁷ <u>ドーリア</u> 人のポリス
ポリス形成の型	¹⁸ <u>シノイクスモス</u> = ¹⁹ <u>集住</u>	<u>先住民を征服して成立。</u>
軍 事	¹⁹ 海軍が中心。	²⁰ 陸軍が中心。
経 済	商工業が発達。	農業が中心。
社会構成	アテネ市民12万人 メトイコイ（在留外人）3万人 奴隷8万人	スパルタ市民(ス ^パ ル ^テ イ ^ア イ)5000人（戦士のみ） ²¹ <u>ペリオイコイ</u> ：商工業に従事した劣格市民。 （自由はあるが、参政権はなし） ²² <u>ヘイロータイ</u> ：国有の農業奴隷。 （ヘロット）（人口はスパルタ市民の10倍）
奴隷制度	購買奴隷中心。 大部分は家内奴隷・農業奴隷として使用。 （一部は鉱山の採掘にも使用）	(²³ <u>リュクルゴス</u>)の制 … 奴隷の反乱を抑え、市民の優位を保つ必要から生まれる 厳しい <u>軍国主義教育</u> （スパルタ式）。 商工業の発展を抑えるための <u>鎖国制度</u> 。

<プラスα>

■ラウレイオン銀山 … アテネの銀山。奴隷を多数使用したことで有名。

古代ギリシアー 3

6 ポリスの変質・没落

1. [¹ ペロポネソス] (前 431 年～前 404 年) … ポリス世界衰退のきっかけです。

- ①原因 … アテネ、² デロス同盟 の盟主として繁栄、他のポリスを支配。
→ (³ スパルタ) を中心とするペロポネソス同盟が反発。
- ②経過 … 戦争中、アテネでは疫病が流行し、ペリクレスが死亡。
→ 民主政治が墮落し、(⁴ 衆愚政治) に陥る … ⁵ デマゴーゴス (扇動政治家) が続出。
- ③結果 … ペルシアの支援を受けたスパルタが勝利。
→ その後もペルシアに操られ、ポリス間の抗争が続く。
(前 4 世紀前半、⁶ テーベ がスパルタを破り一時有力となるが長続きせず)

※ ポリスの衰退 (ポリス社会の変質)

… ⁷ 戦乱による農業の荒廃・戦費の負担・⁸ 貨幣経済の浸透による貧富の差の増大などにより、市民が没落
→ ⁹ 傭兵 の使用が一般化 = ¹⁰ 市民皆兵の原則、崩壊。

2. [¹¹ マケドニア 王国] の台頭 … 王 (¹² フィリッポス 2 世)

- ・ ¹³ 前 338 年、(¹⁴ カイロネイア) の戦いで、デモステネス 率いるアテネ・テーベ連合軍を破る。
・ コリントス同盟 (ヘラス同盟) を結成して (スパルタを除く全ポリスで構成)、ギリシアを支配。

< プラス α >

■ レウクトラの戦い … 前 371 年、テーベがスパルタを破った戦い (テーベはアイオリス人のポリス)。

■ エパメイノンダス … レウクトラの戦いにおけるテーベの指導者。

7 ギリシア文化

特色	自由なポリス市民の文化。 明るく合理的で人間中心的な文化 → 西洋文化の源流の1つ。
宗教	多神教。(1 オリンポス12神)(主神はゼウス)。オリエントのような絶対的な存在でなく、人間と同じ姿を持ち、喜怒哀楽をともにする存在。
文学	叙事詩 前8世紀、(2 ホメロス) : トロイア(トロヤ)戦争を題材にした二大叙事詩。 『3 イリアス』 『4 オデュッセイア』 前8世紀末(5 ヘシオドス) : 『神統記』(神々の系譜を語る) 『6 労働と日々』(勤労の尊さを歌う)
	叙情詩 前7世紀、(7 サッフォー) (古代ギリシア唯一の女性抒情詩人)
	演劇 前5世紀、アテネで発達。 ・悲劇 … 三大悲劇詩人(民主政の全盛期) (8 アイスキュロス)(9 ソフォクレス)(10 エウリピデス) ・喜劇 … 民主政の衰退期(ペロポネソス戦争以後) (11 アリストファネス) : 『12 女の平和』 『13 女の議会』で、 衆愚政治の批判と反戦平和を主張。
歴史	(14 ヘロドトス) : “歴史の父”。15 <u>ペルシア戦争</u> を物語風に記述。「エジプトはナイルのたまもの」 (16 トウキディデス) : 17 <u>ペロポネソス戦争</u> を科学的に記述。
医学	(ヒッポクラテス) : 病因を科学的に究明。“医学の父”。
哲学	①[18 自然哲学] : 前6世紀、イオニア地方の19 <u>ミレトス</u> を中心に発生。 (20 タレス) : 「万物の根源は21 <u>水</u> である」。自然哲学の祖。 (22 ピタゴラス) : 「万物の根源は23 <u>数</u> である」。 (24 デモクリトス) : 「万物の根源は25 <u>原子</u> である」。 (26 ヘラクレイトス) : 「万物は流転する。その象徴は火である」。
	②[27 ソフィスト] (弁論術を教える職業教師) : 前5世紀、民主政の全盛期に登場。 (28 プロタゴラス) : 絶対的真理の存在を否定。「万物の尺度は人間である」。
	③ギリシア哲学の完成 (29 ソクラテス) : ソフィストに反対。絶対的真理の存在を主張。市民に誤解され刑死(ペロポネソス戦争期、民主政の衰退期)。 (30 プラトン) : ソクラテスの弟子。「 <u>イデア論</u> 」「哲人政治」「理想国家論」。 (31 アリストテレス) : プラトンの弟子。古代最大の哲学者、 <u>諸学問を整理・集大成</u> 。 アレクサンドロス大王の家庭教師。(万学の祖)
美術	… 神々を題材に人間の肉体美を追究。写實的で均整と調和を重視。 ①建築(列柱様式に特色) [32 <u>ドーリア式</u>] (荘重・簡素) : アテネの33 <u>パルテノン神殿</u> (ペリクレス時代に完成)。 [34 <u>イオニア式</u>] (優雅・軽快) [<u>コリント式</u>] (繊細・華麗) : ヘレニズム時代に流行。
	②彫刻家(35 <u>フェイディアス</u>) : 『36 <u>アテナ女神像</u> 』。 <u>パルテノン神殿の建築を監督</u> (ペリクレス時代に活躍)。

<プラスα>

- ディオニソス … オリンポスの12神の1つ。ぶどう酒と演劇の神。ローマ名バッカス。
- 三大悲劇詩人の代表作 … 『アガ멤ノン』(アイスキュロス)、『オイディプス』(ソフォクレス)、『メディア』(エウリピデス)。
- アカデメイア … プラトンがアテネ郊外に建てた学園。アカデミーの語源。

古代ギリシアー 4

1 [1] **ヘレニズム** 時代 … “ヘレニズム”とは、“ギリシア風”の意。

1. マケドニア王国の発展

① [2] **フィリッポス 2 世**] : ³ **前338 年** ⁴ **カイロネイア** の戦いで、ギリシアを征服。

② [5] **アレクサンドロス 大王**]

- ・父の死後、⁶ **東方遠征** に出発（前334年）。
- 前333年**イッソスの戦い** → エジプト侵入 → 前331年**アルベラ（ガウガメラ）の戦い**。
- 前330年、**アケメネス朝ペルシア**を滅ぼす（国王⁷ **ダレイオス 3 世**）。
- インダス川流域までを征服 → **バビロン**に帰還し、都とする → その後、急死（前323）。
- ・オリエント的専制君主として支配。各地に**アレクサンドリア市**を建設。
- ・ギリシア人の東方移住、ギリシア人と東方人の結婚を奨励 → 人種の融合進む。

2. 帝国の分裂

① 大王の死後、[⁸ **ディアドコイ**]（後継者の意）を名乗る部下たちの勢力争いが激化。

② **イプソスの戦い**（前301）後、アレクサンドロスの帝国は3国に分裂。

⁹ セレウコス朝シリア	前3世紀中頃、 ギリシア系 の[¹⁰]と イラン系 の[¹¹]が独立 → 前64年、 ローマ により滅亡。
アンティゴノス朝 ¹² マケドニア	前168年、 ローマ により滅亡。
¹³ プトレマイオス朝エジプト	都 ¹⁴ アレクサンドリア → ¹⁵ 前30 年 、 ローマ により滅亡。

3. ヘレニズム時代とは？

- ・アレクサンドロスの**東方遠征**の開始（前334年）から、(¹⁶ **プトレマイオス朝エジプト**) の滅亡（前30年）までの約¹⁷ **300** 年間をいう。
- ・ギリシア本土の人口は減少。経済・文化の中心は東方に移る。
… 中心は**プトレマイオス朝エジプト**の首都¹⁸ **アレクサンドリア**。
- ・ギリシア人の盛んな東方植民によって、**ギリシア文化**と**オリエントの文化**が融合して独自の文化が生まれる … これを**ヘレニズム文化**という。

2 **ヘレニズム文化**

1. 特色

- ① **ギリシア文化**と**オリエント文化**の融合文化。
- ② ポリスの価値観が崩壊 → **個人主義**と(¹⁹ **世界市民主義** = コスモポリタニズム cosmopolitanism)の風潮が広まる。
- ③ **ローマ文化**、**インド**の²⁰ **ガンダーラ美術**、**中国**、**日本**にも影響。
- ④ (²¹ **コイナー**) というギリシア語が共通語となる。

2. 自然科学 … **プトレマイオス朝**の首都**アレクサンドリア**の [²² **ムセイオン** = 王立研究所]が中心。

- ① (²³ **エウクレイデス**) : 平面幾何学。
- ② (²⁴ **アルキメデス**) : 物理学・数学。浮体の原理。シラクサ（シチリア島）出身。
- ③ (²⁵ **アリストアルコス**) : 太陽中心説。 ④ (²⁶ **エラトステネス**) : 地球の円周を測定。

3. 哲学 … 政治から逃避し、個人の内的幸福（心の平静）を求める傾向。

- ① [²⁷ **ストア派**] (**禁欲主義**) : ²⁸ **ゼノン** が創始。 ② [²⁹ **エピクロス**] (**快樂主義**)

4. 美術作品

[³⁰ **ミロのヴィーナス**] 「**ラオコーン(群像)**」 「**サモトラケのニケ**」 「**瀕死のガリア人**」 など。

<プラスα>

□ **セレウキア**、**アンティオキア** … 前者は**セレウコス朝シリア**の初期の都、後者は後期の都。

□ **カッサンドロス朝** … **アンティゴノス朝**が成立する以前の**マケドニア王国**の王朝。

■ **ペルガモン** … **小アジア北西**の**ペルガモン王国**の都。ヘレニズム文化の中心地として繁栄。